

# 定期作況報告（最終）

（第7号 平成26年11月20日現在）  
地方独立行政法人北海道立総合研究機構  
農業研究本部 上川農業試験場

## 1. 気象概況

### 《平成25年》

11月：平均気温は2.6℃で平年より0.5℃高く、降水量は平年の124%、日照時間は平年の86%であった。

12月：平均気温は-3.4℃で平年より1.7℃高く、降水量は平年の97%、日照時間は平年の117%であった。

### 《平成26年》

1月：平均気温は-9.0℃で平年より0.7℃低く、降水量は平年の171%、日照時間は平年の96%であった。

2月：平均気温は-8.0℃で平年より0.9℃低く、降水量は平年の34%、日照時間は平年の117%であった。

3月：平均気温は-3.5℃で平年より1.1℃低く、降水量は平年の75%、日照時間は平年の125%であった。

4月：平均気温は3.6℃で平年より0.5℃低く、降水量は平年の88%、日照時間は平年の157%であった。

5月：平均気温は12.5℃で平年より1.3℃高く、降水量は平年の68%、日照時間は平年の106%であった。

6月：平均気温は18.9℃で平年より1.4℃高く、降水量は平年の124%、日照時間は平年の110%であった。

7月：平均気温は21.4℃で平年より0.8℃高く、降水量は平年の122%、日照時間は平年の139%であった。

8月：平均気温は20.8℃で平年より0.7℃低く、降水量は平年の169%、日照時間は平年の113%であった。

9月：平均気温は15.0℃で平年より1.5℃低く、降水量は平年の61%、日照時間は平年の105%であった。

10月：平均気温は7.5℃で平年より1.8℃低く、降水量は平年の83%、日照時間は平年の93%であった。

本年の根雪終は4月21日で平年より9日遅く、積雪期間は平年より8日長かった。耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月17日で平年より4日早かった。晩霜は平年より5日遅い5月19日であった（表1）。

以上、農耕期間の4月～10月についてまとめると、気温は4月、8月、9月、10月が低く、5月、6月、7月が高く経過した。降水量は6月、7月、8月が多く、4月、5月、9月、10月が少なく経過した。日照時間は10月を除いて平年より多く経過し、4月、7月が特に多かった。

5月から9月までの積算値は、平年に比べ平均気温が36.0℃高く、降水量は平年より72mm多く、日照時間は117時間多かった。

平成24年11月から平成25年10月までの気象は表2のとおりである。

表1 季節表

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	9月27日	10月16日	11月26日	4月21日	146	4月18日	4月17日	5月19日	10月7日	10月28日
平年	10月9日	10月27日	11月25日	4月12日	138	5月5日	4月21日	5月14日	10月8日	10月25日
比較	△12	△11	1	9	8	△17	△4	5	△1	3

注1) 本年は平25～26年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。  
平年は過去10か年の平均値。

4) △印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

表2 気象表

年 月 旬	最高気温(°C)			最低気温(°C)			平均気温(°C)			降水量(mm)				降水日数(日)			日照時間(hr)				
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)	
2013 11 中 下	上	11.3	10.2	▲1.1	1.1	1.4	▲0.3	6.0	5.5	0.5	53.5	33.7	19.8	159	5	6	▲1	23.4	27.5	▲4.1	85
	中	3.6	5.6	▲2.0	-3.0	-1.7	▲1.3	0.4	1.8	▲1.4	31.0	32.2	▲1.2	96	6	6	▲0	18.4	21.1	▲2.7	87
	下	4.6	2.5	2.1	-1.9	-4.4	2.5	1.4	-0.9	2.3	43.5	37.6	5.9	116	9	7	2	15.5	17.9	▲2.4	87
	平均・合計	6.5	6.1	0.4	-1.3	-1.6	0.3	2.6	2.1	0.5	128.0	103.5	24.5	124	20	19	1	57.3	66.5	▲9.2	86
12 中 下	上	1.4	-0.1	1.5	-4.4	-7.4	3.0	-1.2	-3.4	2.2	30.0	34.3	▲4.3	87	7	7	▲0	14.8	16.9	▲2.1	88
	中	0.1	-2.1	2.2	-6.4	-10.0	3.6	-2.8	-5.4	2.6	28.0	23.1	4.9	121	6	7	▲1	26.5	14.9	11.6	178
	下	-3.0	-2.7	▲0.3	-10.4	-11.4	1.0	-6.1	-6.4	0.3	19.5	22.3	▲2.8	87	9	8	1	18.6	19.2	▲0.6	97
	平均・合計	-0.5	-1.6	1.1	-7.1	-9.6	2.5	-3.4	-5.1	1.7	77.5	79.7	▲2.2	97	22	22	0	59.9	51.0	8.9	117
2014 1 中 下	上	-3.9	-3.8	▲0.1	-13.4	-12.6	▲0.8	-7.6	-7.5	▲0.1	39.0	16.7	22.3	234	8	6	2	18.0	17.7	0.3	102
	中	-7.9	-5.2	▲2.7	-18.3	-14.4	▲3.9	-12.2	-9.2	▲3.0	31.0	17.2	13.8	180	4	7	▲3	26.0	22.8	3.2	114
	下	-3.2	-4.1	0.9	-12.9	-13.7	0.8	-7.3	-8.3	1.0	19.5	18.5	1.0	105	6	7	▲1	24.7	31.1	▲6.4	79
	平均・合計	-5.0	-4.4	▲0.6	-14.9	-13.6	▲1.3	-9.0	-8.3	▲0.7	89.5	52.4	37.1	171	18	20	▲2	68.7	71.6	▲2.9	96
2 中 下	上	-5.7	-3.4	▲2.3	-17.5	-13.7	▲3.8	-11.0	-7.9	▲3.1	11.5	14.2	▲2.7	81	4	6	▲2	31.3	30.5	0.8	103
	中	-2.7	-2.7	0.0	-11.6	-13.6	2.0	-6.9	-7.6	0.7	5.5	17.5	▲12.0	31	4	6	▲2	33.1	35.9	▲2.8	92
	下	0.3	-0.8	1.1	-13.0	-11.8	▲1.2	-6.0	-5.7	▲0.3	0.0	18.7	▲18.7	0	0	5	▲5	48.1	29.5	18.6	163
	平均・合計	-2.7	-2.3	▲0.4	-14.0	-13.0	▲1.0	-8.0	-7.1	▲0.9	17.0	50.4	▲33.4	34	8	17	▲9	112.5	95.9	16.6	117
3 中 下	上	-3.2	0.0	▲3.2	-10.4	-10.4	0.0	-6.3	-4.7	▲1.6	16.0	16.0	0.0	100	7	6	1	28.4	45.2	▲16.8	63
	中	1.3	2.4	▲1.1	-12.1	-6.8	▲5.3	-4.8	-1.8	▲3.0	14.0	20.5	▲6.5	68	4	6	▲2	65.9	32.4	33.5	203
	下	6.7	3.8	2.9	-5.6	-5.6	0.0	0.5	-0.7	1.2	6.0	11.2	▲5.2	54	2	5	▲3	71.6	55.2	16.4	130
	平均・合計	1.6	2.1	▲0.5	-9.4	-7.6	▲1.8	-3.5	-2.4	▲1.1	36.0	47.7	▲11.7	75	13	17	▲4	165.9	132.8	33.1	125
4 中 下	上	5.3	6.6	▲1.3	-4.6	-3.6	▲1.0	0.6	1.7	▲1.1	43.5	17.1	26.4	254	6	5	1	48.7	49.7	▲1.0	98
	中	7.7	9.6	▲1.9	-4.7	-1.0	▲3.7	1.4	4.1	▲2.7	1.5	17.9	▲16.4	8	1	4	▲3	84.9	55.2	29.7	154
	下	17.3	12.4	4.9	0.3	1.2	▲0.9	8.9	6.6	2.3	0.0	16.1	▲16.1	0	0	4	▲4	102.5	45.2	57.3	227
	平均・合計	10.1	9.5	0.6	-3.0	-1.1	▲1.9	3.6	4.1	▲0.5	45.0	51.1	▲6.1	88	7	14	▲7	236.1	150.1	86.0	157
5 中 下	上	17.7	15.7	2.0	4.9	3.5	1.4	11.2	9.4	1.8	18.0	28.8	▲10.8	63	6	5	1	49.9	52.1	▲2.2	96
	中	17.6	17.0	0.6	5.9	4.9	1.0	11.5	10.8	0.7	32.0	21.1	10.9	152	5	4	1	52.4	54.5	▲2.1	96
	下	21.3	19.9	1.4	7.7	7.4	0.3	14.7	13.4	1.3	1.5	25.5	▲24.0	6	1	4	▲3	82.7	68.0	14.7	122
	平均・合計	18.9	17.5	1.3	6.2	5.3	0.9	12.5	11.2	1.3	51.5	75.4	▲23.9	68	12	13	▲1	185.0	174.6	10.4	106
6 中 下	上	28.3	23.0	5.3	13.7	10.4	3.3	20.5	16.2	4.3	8.5	12.8	▲4.3	66	2	3	▲1	82.9	62.0	20.9	134
	中	21.4	23.6	▲2.2	14.0	12.6	1.4	16.9	17.6	▲0.7	64.5	27.3	37.2	236	9	4	6	18.3	54.4	▲36.1	34
	下	26.1	25.2	0.9	13.6	13.6	0.0	19.4	18.9	0.5	13.0	29.2	▲16.2	45	2	3	▲1	90.8	57.9	32.9	157
	平均・合計	25.3	23.9	1.3	13.8	12.2	1.6	18.9	17.6	1.4	86.0	69.3	16.7	124	13	10	3	192.0	174.3	17.7	110
7 中 下	上	26.3	26.0	0.3	16.6	15.5	1.1	20.9	20.3	0.6	13.0	33.6	▲20.6	39	2	3	▲1	65.6	49.2	16.4	133
	中	27.8	25.4	2.4	17.4	15.5	1.9	22.0	19.8	2.2	20.5	51.1	▲30.6	40	3	4	▲1	76.9	51.3	25.6	150
	下	27.0	27.5	▲0.5	16.2	16.8	▲0.6	21.2	21.6	▲0.4	122.5	42.9	79.6	286	6	4	2	75.3	56.4	18.9	134
	平均・合計	27.0	26.3	0.7	16.7	15.9	0.8	21.4	20.6	0.8	156.0	127.6	28.4	122	11	12	▲1	217.8	156.9	60.9	139
8 中 下	上	27.9	28.5	▲0.6	19.0	18.4	0.6	22.9	22.9	0.0	194.5	37.0	157.5	526	6	3	3	50.4	54.6	▲4.2	92
	中	25.9	27.2	▲1.3	16.9	17.4	▲0.5	20.9	21.8	▲0.9	47.0	74.6	▲27.6	63	5	5	0	46.3	44.1	2.2	105
	下	24.9	25.5	▲0.6	13.3	15.2	▲1.9	18.6	19.9	▲1.3	30.5	49.4	▲18.9	62	3	5	▲2	78.3	56.1	22.2	140
	平均・合計	26.2	27.1	▲0.8	16.4	17.0	▲0.6	20.8	21.5	▲0.7	272.0	161.0	111.0	169	14	13	1	175.0	154.8	20.2	113
9 中 下	上	24.8	24.6	0.2	14.1	14.2	▲0.1	18.7	18.9	▲0.2	48.5	70.3	▲21.8	69	5	5	▲0	53.2	46.4	6.8	115
	中	18.6	23.2	▲4.6	8.5	12.0	▲3.5	13.4	17.1	▲3.7	33.5	42.6	▲9.1	79	5	4	1	37.6	50.0	▲12.4	75
	下	20.2	19.4	0.8	6.7	8.0	▲1.3	12.9	13.4	▲0.5	10.5	39.6	▲29.1	27	3	4	▲1	62.0	48.6	13.4	128
	平均・合計	21.2	22.4	▲1.2	9.8	11.4	▲1.6	15.0	16.5	▲1.5	92.5	152.5	▲60.0	61	13	14	▲1	152.8	145.0	7.8	105
10 中 下	上	14.2	17.8	▲3.6	3.9	6.5	▲2.6	8.8	11.7	▲2.9	28.5	35.4	▲6.9	81	4	5	▲1	36.5	49.5	▲13.0	74
	中	13.4	15.3	▲1.9	3.0	4.1	▲1.1	8.2	9.3	▲1.1	22.5	35.7	▲13.2	63	4	6	▲2	43.0	42.9	0.1	100
	下	12.1	12.3	▲0.2	0.2	2.2	▲2.0	5.6	7.0	▲1.4	37.0	35.4	1.6	105	4	6	▲2	42.8	38.8	4.0	110
	平均・合計	13.2	15.1	▲1.9	2.4	4.3	▲1.9	7.5	9.3	▲1.8	88.0	106.5	▲18.5	83	12	17	▲5	122.3	131.2	▲8.9	93

- 1) 比布アメダス観測値。  
 2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。  
 3) ▲印は平年に比べて減を示す。

表3 農耕期間積算値(5月～9月)

期間	項目	平均気温	日照時間	降水量	降水日数
		(°C)	(hr)	(mm)	(日)
5月上旬 ～ 9月下旬	本年	2,711	923	658	63
	平年	2,675	806	586	61
	比較	36	117	72	2

- 注 1) 比布アメダス観測値。  
 2) 平年は過去10か年の平均値。

#### 1) 水 稲 : 良

事由：播種は平年より1～2日遅い4月15日に行った。育苗期間中は、平年より高温多照で、出芽揃も良好で、苗の生育は進んだ。移植は平年より3日早い5月16日に行った。移植時の苗素質は平年並であった。移植後2日間は極低温に経過し、植痛みがみられた。

5月末から6月第1週まで好天が続き、生育は順調に回復した。しかし、6月第2週以降は降雨が続き、日照も少なかったことから、主稈葉数は平年に比べ0.5～0.6枚多いものの、草丈は総じて平年並で、 $m^2$ 当たりの莖数は10～37%少なかった。

6月下旬以降高温多照に推移したため、生育は進み、幼穂形成期は平年並となり、その後の止葉期は平年より1～3日早くなった。

出穂期は平年より1～2日早かったが、穂揃い日数は2～4日長かった。 $m^2$ 当たり穂数は品種の平均でわずかに多い傾向があった。

8月下旬および9月中旬の気温がやや低く経過したため、登熟が緩慢となり、成熟期は4～12日遅く、登熟日数は6～13日長かった。一穂籾数は平年より12～24%それぞれ多く、 $m^2$ 当たり籾数( $m^2$ 当たり穂数×一穂籾数)は、平年より15～24%多かった。稔実歩合は平年より0.3～1.6ポイント高かった。

精玄米千粒重は平年比101～103%で、平年並からやや重かった。精玄米重は「ななつぼし」が735kg/10a、「きらら397」が711kg/10a、「ゆめぴりか」が671kg/10aとそれぞれ平年比111、111、105%で、3品種の平均は109%だった。ただし、登熟歩合が平年より低く、玄米品質は青米や充実不足粒がやや多かった。等級も形質充実度不足により落等した。

以上のことから本年の作況は「良」である。

表4 水稻の生育

項目		品 種 名			ななつぼし			きらら397			ゆめぴりか			
		/年次			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
生育期節	播種期 (月日)	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	
	移植期 (月日)	5.16	5.19	△ 3	5.16	5.19	△ 3	5.16	5.19	△ 3	5.16	5.19	△ 3	
	幼穂形成期 (月日)	6.24	6.22	2	6.26	6.24	2	6.22	6.24	△ 2	6.22	6.24	△ 2	
	止葉期 (月日)	7.07	7.08	△ 1	7.09	7.11	△ 2	7.06	7.09	△ 3	7.06	7.09	△ 3	
	出穂期 (月日)	7.19	7.20	△ 1	7.21	7.22	△ 1	7.18	7.20	△ 2	7.18	7.20	△ 2	
	成熟期 (月日)	9.16	9.07	9	9.22	9.10	12	9.10	9.06	4	9.10	9.06	4	
	穂揃日数 (日)	11	7	4	9	7	2	10	8	2	10	8	2	
	登熟日数 (日)	59	49	10	63	50	13	54	48	6	54	48	6	
	生育日数 (日)	154	147	7	160	149	11	148	145	3	148	145	3	
移植時	草丈 (cm)	13.8	13.2	0.6	13.6	12.5	1.1	12.5	13.5	▲ 1.0	12.5	13.5	▲ 1.0	
	葉数 (枚)	4.2	4.0	0.2	4.4	4.1	0.3	4.5	4.3	0.2	4.5	4.3	0.2	
	茎数 (本)	1.8	1.7	0.1	2.1	1.9	0.2	2.2	2.0	0.2	2.2	2.0	0.2	
	第1葉鞘高 (cm)	1.8	2.6	▲ 0.8	1.8	2.6	▲ 0.8	1.7	2.5	▲ 0.8	1.7	2.5	▲ 0.8	
	地上部乾物重 (g/100本)	4.46	4.23	0.23	4.36	4.07	0.29	3.67	4.78	▲ 1.11	3.67	4.78	▲ 1.11	
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.9	8.3	0.6	9.2	8.7	0.5	9.2	8.6	0.6	9.2	8.6	0.6
		7月20日	11.0	10.3	0.7	11.8	11.1	0.7	11.2	10.7	0.5	11.2	10.7	0.5
		止葉葉数	11.0	10.3	0.7	11.8	11.1	0.7	11.2	10.7	0.5	11.2	10.7	0.5
	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	6月20日	504	624	▲ 120	465	743	▲ 278	617	683	▲ 66	617	683	▲ 66
		7月20日	786	742	44	777	814	▲ 37	885	813	72	885	813	72
	草丈 (cm)	6月20日	38.5	40.9	▲ 2.4	36.7	34.8	1.9	39.1	37.9	1.2	39.1	37.9	1.2
7月20日		87.6	83.1	4.5	76.7	74.6	2.1	84.3	79.9	4.4	84.3	79.9	4.4	
成熟期	稈長 (cm)	73.9	67.3	6.6	66.3	61.8	4.5	67.1	65.1	2.0	67.1	65.1	2.0	
	穂長 (cm)	16.0	16.9	▲ 0.9	16.4	16.7	▲ 0.3	15.8	16.8	▲ 1.0	15.8	16.8	▲ 1.0	
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	723	680	43	685	744	▲ 59	795	746	49	795	746	49	
収量構成要素	一穂粒数 (粒)	55.6	49.6	6.0	52.1	42.0	10.1	49.5	42.7	6.8	49.5	42.7	6.8	
	m <sup>2</sup> あたり粒数 (×千)	40.2	33.8	6.4	35.7	31.1	4.6	39.4	31.7	7.7	39.4	31.7	7.7	
	稔実歩合 (%)	97.1	95.6	1.5	96.1	94.5	1.6	95.3	95.0	0.3	95.3	95.0	0.3	
	m <sup>2</sup> あたり稔実粒数 (×千)	39.0	32.3	6.7	34.3	29.4	4.9	37.5	30.1	7.4	37.5	30.1	7.4	
	同歩比 (%)	121	100	21	117	100	17	125	100	25	125	100	25	
	登熟歩合 (%)	82.6	89.6	▲ 7.0	82.2	86.0	▲ 3.8	73.0	86.2	▲ 13.2	73.0	86.2	▲ 13.2	
	籾摺歩合 (%)	77.8	81.9	▲ 4.1	77.1	81.4	▲ 4.3	75.7	79.1	▲ 3.4	75.7	79.1	▲ 3.4	
	屑米歩合 (%)	4.4	1.6	2.8	3.3	1.8	1.5	5.8	3.0	2.8	5.8	3.0	2.8	
精玄米千粒重 (g)	22.7	22.5	0.2	23.9	23.3	0.6	23.2	23.0	0.2	23.2	23.0	0.2		
収量	藁重 (kg/10a)	717	633	84	774	596	178	671	622	49	671	622	49	
	精粒重 (kg/10a)	945	807	138	922	789	133	887	812	75	887	812	75	
	精玄米重 (kg/10a)	735	661	74	711	642	69	671	641	30	671	641	30	
	収量平年比 (%)	111	100	11	111	100	11	105	100	5	105	100	5	
	検査等級 (等)	2中	1下	-	2上	1下	-	2中	1下	-	2中	1下	-	

注 1) 「きらら397」「ななつぼし」の平年値は前7カ年中、平成20年(最豊年)、平成21年(最凶年)を除く5カ年の平均。「ゆめぴりか」の平年値は前6カ年中、平成21年(最凶年)を除く5カ年の平均。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm<sup>2</sup>あたり、床土 N 3.0g, P 7.2g, K 3.0g、置床 N 27.0g, P 34.0g, K 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m<sup>2</sup> (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P 9.7kg, 6.9kg, 堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦：やや良

事由：平年より4日早い9月11日に播種を行った。出芽期は平年より4日早い9月20日となった。越冬前の生育は葉数がやや多く草丈は高かったが、茎数はやや少なかった。根雪始は平年より1日遅く、根雪終は平年より9日遅く、積雪期間は平年より8日長い146日となった。雪腐病発病度は平年並で、発生菌種は紅色雪腐病が主体であった。㎡当たり越冬前茎数は少なかったが、越冬茎歩合は平年より高く、越冬後の茎数は平年並であった。4月下旬以降、高温・干ばつ傾向で推移したため生育が進み、出穂期は平年より3日早かった。茎の無効分げつ化も進み、6月20日時点の㎡当たり茎数は平年を下回った。成熟期は平年より2日早い7月16日であったが、出穂期は平年より3日早かったため、登熟期間は平年より1日長かった。成熟期における穂長は平年並であったが、稈長は平年より短く、㎡当たり穂数は平年の85%であった。しかし、子実の充実は良好であり、リットル重と千粒重は平年をやや上回り、子実重は平年比105%とやや多収となった。なお、検査等級も平年を上回った。

したがって、本年の作況は「やや良」である。

表5. 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		きたほなみ		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	9.11	9.15	△ 4
出芽期	(月.日)	9.20	9.24	△ 4
出穂期	(月.日)	6.03	6.06	△ 3
成熟期	(月.日)	7.16	7.18	△ 2
越冬茎歩合	(%)	140.4	121.5	18.9
雪腐病発病度		12.5	10.1	2.4
葉数(枚)	平25年10月20日	5.1	4.4	0.7
草丈 (cm)	平25年10月20日	20.3	17.8	2.5
	平26年 5月20日	37.4	41.3	▲ 3.9
	平26年 6月20日	82.0	89.6	▲ 7.6
茎数 (本/㎡)	平25年10月20日	717	747	▲ 30
	平26年 5月20日	1341	1277	64
	平26年 6月20日	633	689	▲ 56
成 熟 期	稈長 (cm)	73	81	▲ 8
	穂長 (cm)	8.9	8.6	0.3
	穂数(本/㎡)	555	656	▲ 101
子実重	(kg/10a)	709	676	33
同上	平年比 (%)	105	100	5
リットル重	(g)	812	799	13
千粒重	(g)	41.7	40.1	1.6
検査等級	(等)	1	2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年(収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) 春まき小麦： 良

事由：融雪は遅れたがその後の天候が良好であったため、播種期は平年より2日早い4月18日であった。播種後、気温が高く経過したことから、出芽期は平年より4日早い4月30日となった。出芽後も気温が高く経過したため初期生育は良好で、出穂期は平年より7日早く、6月20日時点の草丈およびm<sup>2</sup>当たり茎数ともに平年を上回った。6月下旬以降は高温干ばつ傾向で推移したため、茎の無効化が進んだ。穂長は平年並であるが、稈長は平年よりやや短く、m<sup>2</sup>当たり穂数は平年の78%であった。成熟期は平年より6日早かったが、出穂期は7日早かったため、登熟期間は平年より1日長かった。穂数が平年を下回ったものの、リットル重と千粒重は平年を上回り、子実重は平年を14%上回った。

したがって、本年の作況は「良」である。

表6. 春まき小麦の生育および収量

品 種 名		春よ恋		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.18	4.20	△ 2
出芽期	(月.日)	4.30	5.04	△ 4
出穂期	(月.日)	6.11	6.18	△ 7
成熟期	(月.日)	7.23	7.29	△ 6
草丈 (cm)	5月20日	25.7	19.5	6.2
	6月20日	93.9	75.6	18.3
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	5月20日	913	569	344
	6月20日	705	657	48
成 熟 期	稈長 (cm)	87	91	▲ 4
	穂長 (cm)	8.5	8.7	▲ 0.2
	穂数(本/m <sup>2</sup> )	393	504	▲ 111
子実重	(kg/10a)	548	479	69
同上	平年比 (%)	114	100	14
リットル重	(g)	806	793	13
千粒重	(g)	44.5	40.1	4.4
検査等級	(等)	2中	2中	-

- 注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、24年を除く5か年の平均値。  
 2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。  
 3) リットル重は1リットル升による測定。

4) 大豆：良

事由：播種期は平年より7日早い5月15日であったが、出芽期の平年との差は播種直後の著しい低温により3日に縮まった。出芽期前後は著しい高温・少雨に経過したため、出芽直後の生育は緩慢であったが、6月9日以降の連続した降雨と少照により徒長気味に生育し、開花期は平年より7日早い7月4日で、作況に「ユキホマレ」を供試した過去14年間で最も早かった。開花期以降も高温、干ばつが続いたため主茎の伸長停止が早まったが、7月下旬以降は大雨により圃場は過湿気味に経過した。成熟期は平年より3日早かった。成熟期における主茎長は平年より15.6cm短く、倒伏は見られなかった。主茎節数はほぼ平年並で、分枝数は平年より0.6本少なかったが、着莢数は平年より多く、百粒重は平年より0.7g軽かったが、子実重は平年比113%と多収であった。なお、屑粒率は平年より低く、検査等級は平年より高かった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表7 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.15	5.22	△ 7
出芽期	(月.日)	5.31	6.03	△ 3
開花期	(月.日)	7.04	7.11	△ 7
成熟期	(月.日)	9.18	9.21	△ 3
主茎長 (cm)	6月20日	18.4	13.3	5.1
	7月20日	51.1	63.7	▲ 12.6
	8月20日	51.5	69.8	▲ 18.3
	成熟期	54.5	70.1	▲ 15.6
主茎 節数 (節)	6月20日	5.4	4.6	0.8
	7月20日	10.1	10.4	▲ 0.3
	8月20日	10.4	10.5	▲ 0.1
	成熟期	10.4	10.5	▲ 0.1
分枝数 (本/株)	7月20日	6.5	7.1	▲ 0.6
	8月20日	4.2	7.2	▲ 3.0
	成熟期	5.1	5.7	▲ 0.6
着莢数 (個/株)	8月20日	75	83	▲ 8
	成熟期	82	73	9
子実重	(kg/10a)	476	421	55
同上	平年比 (%)	113	100	13
百粒重	(g)	36.9	37.6	▲ 0.7
屑粒率	(%)	0.5	3.6	▲ 3.1
検査等級	(等)	2上	3上	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成20年、22年を除く5か年の平均値。  
2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

5) 小 豆： 良

事由：播種期は平年より2日早い5月22日であった。出芽期は6月5日で平年より4日早かったが、播種後の高温と少雨により出芽は不ぞろいであった。6月上旬は著しい高温、乾燥であったが、6月中旬には連続した降水があったため、6～7月は主茎長、本葉数とも平年を上回った。開花期は平年並であった。7月下旬以降圃場は過湿気味に経過したが、成熟期は平年より1日早かった。主茎長は平年より7.1cm短かったが、主茎節数、分枝数ともほぼ平年並であった。着莢数は平年より多く、百粒重は平年より0.6g軽かったが、子実重は平年比114%と多収であった。なお、屑粒率は平年より低く、検査等級は平年より高かった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表8 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.22	5.24	△ 2
出芽期	(月.日)	6.5	6.9	△ 4
開花期	(月.日)	7.21	7.21	0
成熟期	(月.日)	9.2	9.3	△ 1
主茎長 (cm)	6月20日	6.5	4.8	1.7
	7月20日	44.2	36.5	7.7
	8月20日	70.2	68.7	1.5
	成熟期	66.9	74.0	▲ 7.1
本葉数 (枚)	6月20日	2.3	1.3	1.0
	7月20日	11.4	9.7	1.7
	8月20日	12.5	13.3	▲ 0.8
主茎節数 (節)	成熟期	15.2	15.2	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	5.7	6.1	▲ 0.4
	8月20日	5.3	5.7	▲ 0.4
	成熟期	5.3	5.2	0.1
着莢数 (個/株)	8月20日	51.3	56.2	▲ 4.9
	成熟期	69.4	56.0	13.4
子実重	(kg/10a)	352	308	44
同上	平年比 (%)	114	100	14
百粒重	(g)	11.8	12.4	▲ 0.6
屑粒率	(%)	1.2	3.4	▲ 2.2
検査等級	(等)	2上	3下	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、平成20年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。



6) ばれいしょ： 平年並

植付けは、平年より3日早い5月8日に行ったが、5月第4半旬から第5半旬にかけて低温に経過したため、萌芽期は平年より1日遅かった。5月第6半旬から6月上旬にかけての記録的な猛暑により初期生育は早く、さらに6月9日以降の連続した降雨と少照により茎は徒長気味で、開花始は平年より1日早かった。茎長は平年より大きく上回り推移した。7月中旬までの高温・少雨と7月下旬以降の圃場の過湿により茎葉の黄変が進み、枯凋期は平年より7日早かった。株当たり上いも数は平年より1.0個少なかったが、上いも平均一個重は11g重かった。上いも収量は平年比103%で、中以上いも収量は一個重が重く小いもが少なかったため平年比107%であった。しかし、3L以上のいもが多かったため規格内いも収量は平年比101%とほぼ平年並であった。なお、でん粉価は7月20日には平年を2.3ポイント上回っていたが、7月下旬以降の圃場の過湿により低下し、枯凋期には14.2%と平年を1.1ポイント下回った。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表9. ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男爵薯		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.08	5.11	△ 3
萌芽期 (月.日)		5.29	5.28	1
開花始 (月.日)		6.22	6.23	△ 1
枯凋期 (月.日)		8.24	8.31	△ 7
茎長 (cm)	6月20日	43.2	34.3	8.9
	7月20日	55.9	46.0	9.9
上いも数 (個/株)	7月20日	9.8	9.6	0.2
	8月20日	10.3	11.3	▲ 1.0
上いも平均一個重 (g)	7月20日	81	75	6
	8月20日	106	95	11
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	3496	3165	331
	8月20日	4886	4686	200
でん粉価 (%)	7月20日	15.8	13.5	2.3
	8月20日	14.4	15.4	▲ 1.0
収 穫 期	上いも数 (個/株)	9.7	11.1	▲ 1.4
	上いも平均一個重 (g)	111	96	15
	上いも収量 (kg/10a)	4776	4650	126
	同上平年比 (%)	103	100	3
	中以上いも収量 (kg/10a)	4344	4059	285
	同上平年比 (%)	107	100	7
	規格内いも収量 (kg/10a)	3909	3887	22
	同上平年比 (%)	101	100	1
でん粉価 (%)		14.2	15.3	▲ 1.1

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。